

## 第16期第12回常任理事会 議事録

日時 昭和46年9月13日 15h~18h

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山本, 関原, 駒林, 小平, 北川, 岸保, 神山,  
大井, 川村, 伊藤, 関口, 各常任理事

列席者 中村, 鈴木庶務委員

報告抜粋

- [庶務] 1. 7月13日(社)日本放射性同位元素協会々長から第9回理工学における同位元素研究発表会の共同主催について依頼がきた。
2. 8月2日(社)日本化学会々長から化学技術賞受賞候補者推薦の依頼がきた。メ切9月30日
3. 8月12日(財)東レ科学振興会々長から本年度の東レ科学技術賞および同研究助成候補者推薦依頼がきた。
4. 8月25日(財)競艇記念日本顕彰会々長から社会貢献者(運輸関係労務者)の推薦依頼がきた。メ切9月10日
5. 7月13日山路ふみ子自然科学振興財団研究助成金候補者として新田勲会員(東京学芸大)の「熱帯大気中の大規模波動に関するデータ解析および理論的研究」を推薦した。
6. 7月14日, 各理事に対し, 昭和46年度学会賞・藤原賞審査委員および外国文献集編集委員2名追加について書面審査を依頼した。
- 結果 学会賞委員 可24 未回答1  
藤原賞委員 可23 否1 未回答1  
外国文献集編集委員 可24 未回答1
7. 8月2日上記の委員に就任を依頼した。
8. 9月11日, 朝日新聞社から朝日賞推薦の依頼がきた。メ切10月10日

[ノート] ノートは今後日本気象協会に販売を依頼するほか, 大会および各種の会合等機会あるごとに販売に努力する。

[外国文献集] 8月から印刷を始めた。以後12月までに4冊刊行の予定。

- [学術会議] 1. 7月29~31日, 秋田大学で第4部会が開かれ主として, 70年代の科学についての討論が行なわれた。
2. 8月14日, 国連人間環境会議の事務局長が学術会議を訪問し, 環境科学に関し懇談した。

これに北岡, 杉浦各会員および神山理事が参加した。

[地物研連] 1. GARP小委員会は, 地球物理学研究連絡委員会に属しているが, 学術会議の地球観測特別委員会附置になるよう申しでた。

2. IAMAP 会議の総会は1974年1月または2月にメルボルンで開催することになった。日本としては1月開催を希望すると連絡した結果1月に開催する予定となった。

山本理事長からIUGGモスクー会議の報告があった。その中で, GARP観測計画で日本は気団変質に関する観測を南西諸島海域を提案し JOC は日本海を勧告していたが JOC が日本の考えを了承したと報告された。

## 議 題 承

1. 秋季大会の準備について  
さきに北海道支部長から報告のあった計画を全面的に了承し, 運営を毛利大会委員長に一任する。
2. 昭和46年度学会奨励金受領者について  
選考委員会から推薦された次の2件を適当と認め全理事に投票を求める。  
竹内 丑雄 降水中の化学成分と気象との関係  
山川 弘 東北地方太平洋側地域の大雨
3. 次期選挙管理委員長について  
清水逸郎会員(高層課長)を推薦する。  
(本件は全理事に書面審査を求める)
4. 国際放射シンポジウム寄付金について  
国際会議の説明書ならびに資金募集に関する趣意書と寄付金募金内訳(予定)が提出され承認された。
5. 国際放射シンポジウム委員の変更について  
東北大学学長の本川弘一委員が死亡されたのでその後任として現委員の新学長加藤陸奥雄氏を, またその後任に新理学部長鈴木次郎氏を, 次に退官された西本清吉委員に代り新仙台管区気象台長佐々木芳治氏をそれぞれ組織委員会委員に願う。実行委員会委員についても, 西本清吉氏に代り, 佐々木芳治氏また新たに今井一郎, 清水逸郎の両氏に就任を願う。以上の変更を承認する。
6. その他  
(1) 郵便料金の値上げ対策について  
秋季札幌大会の理事長あいさつに含める。

- 対策を引続き検討する、全国理事会に資料を作って配付し検討してもらう。
- (2) 外国会員の会費を為替レートの変動により12\$とする。
- (3) 外国文献集の外国にいる会員については、領価3.5\$を4.0\$にする。
- (4) 気象集誌編集委員の増員について  
新たに吉田泰治会員(電計室)を追加することを承認(本件は全理事に承認を求める)
- (5) 学会奨励金受領者の報告書様式について  
北川理事提案の書式を若干変更して承認
- (6) 朝日賞候補者について  
山本義一会員を推薦する。
- (7) 奨励金選考委員会から要望のあった受領件数の増加については前向きに検討する。
- (8) 第3回理事会議事録、議題2 正野記念論文集についてのうち「気象集誌の記念号とする」とあるを「気象集誌の特別号とする」に改める。
- (9) 昭和47年3月11日、日本気象学会、日本建築学会、日本生気象学会、都市計画学会、造園学会、空調調和衛生工学会、生物環境調節学会、都市環境工学会、日本農業気象学会共催で「都市建築と気象に関するシンポジウム」を開催することを了承
- 承認事項 新入会員吉崎正憲外13名の入会を承認する。

## 気象研究ノート新刊・近刊のお知らせ

### 気象研究ノート編集委員会

#### 1. 新刊「環境汚染特集号」について

「天気」2月号に予告しました気象研究ノート「環境汚染特集号」は、8月に発行されました。部数に余裕がありますので、ご希望の方は今からご注文ください。

#### 第107号「環境汚染特集号」目次

大気大循環と汚染物質	菊池 幸雄
気候変動の人為的原因	根本 順吉
対流圏の汚染	川村 清
燃焼による空気成分の変化	当舎万寿夫
海洋汚染	杉浦 吉雄
人工放射能による大気汚染	葛城 幸雄
放射観測による大気汚染の現状	藤本 文彦
都市汚染に対する大気拡散研究の現状	伊藤 昭三
都市地域大気汚染	大喜多敏一

158ページ

配布価格： 通常会員 600円  
団体会員 720円、会員外 780円

#### 2. 近刊の予定について

[現在印刷中のもの]

#### 第108号「メゾ気象力学」

—L. N. Gutman によるメゾ気象学的過程の非線型理論序説—(浅井富雄紹介)

目次：第1章 メゾ気象過程の熱流体力学方程式、第2章 大地の起伏の気流におよぼす影響、第3章 前線、第4章 テルミック、第5章 積雲、第6章 竜巻とトルネド、第7章 局地風

今年10月発行予定、148ページで配布価格は通常会員の場合600円程度。

#### 第109号「対流に関する研究の現状と問題点」

—京都シンポジウム(1970)の報告—

目次は「天気」8月号参照。

本号添付のはがきで予約注文してください。

[現在編集中のもの]

#### 「気象衛星」

#### 「気象力学に用いられる数値計算法」

来年初めに発行予定です。